

卒業式式辞

春の息吹が感じられる今日の佳き日、ご来賓ならびに多数の保護者の皆様をお迎えして、ここに令和6年度第57回卒業式および第28回修了式を挙行できますことは、本校教職員ならびに在校生一同の大きな喜びであり、ご臨席の皆様方に対し、心から御礼申し上げます。

本年度の本科卒業生は機械工学科33名、電気情報工学科39名、環境都市工学科38名、建築学科38名、合計148名です。専攻科では、39名が修了し、「学士(工学)」の学位を授与されました。この中には留学生として、ラオスからのテンさんが含まれます。合わせて187名の若者が、本日、この学舎から巣立っていくことになります。

卒業生・修了生の皆さん、ならびに保護者の皆様、ご卒業・修了、おめでとうございます。また、保護者の方々をはじめ、これまで彼らを支え、励まし続けていただいた皆様に対し、お祝いを申し上げますとともに、改めてここに感謝の意を表したいと存じます。

皆さんは工学を学ぶ道を選択し、呉高専で青春の貴重な時期を過ごしました。呉高専での勉強は、基礎だけでなく専門領域まで深く学び大変だったと思います。一方で、スポーツや音楽、芸術、ロボコンなどのコンクール、学生会など、楽しんで力を発揮してきたこともあったでしょう。今日、皆さんは、これまでの努力や積み上げた実績の成果として、卒業証書・修了証書を手にされました。これは呉高専で皆さんが頑張った証です。皆さんにはこれまでの努力に対して、自信と誇りを持って卒業して頂きたいと思います。

さて、呉高専は今年度60周年を迎えました。本校が創立された1964年は、まさに高度成長期の真直中でした。東京オリンピックが開催され、タイミングを合わせて新幹線の開業を成し遂げるなど、戦後日本の復興と発展を世界にアピールした記念すべき年でした。その後、世界第2位の経済大国となり世界から羨望の眼差しで見られるような大きな成長を遂げました。しかし、バブル崩壊を機に国の政策面でも企業の対応でもマイナス面が露呈し、結果的に多くの優秀な技術者が現場を離れ、その後はほとんど経済成長がないまま、気が付けば失われた30年と言われる状況になっています。

私はこのようなときこそ、この呉高専で学んだ皆さんの力が必要とされていると思っています。いま、本校には創立当初を想像させるような、人財育成への大きな期待が集まっています。そして、工学を学ばれた皆さんへの強い期待感をいたるところで感じます。これからの日本を考えると、技術立国として皆が幸せに暮らしていける国を維持していくためには、皆さんの力が欠かせません。

今日卒業する皆さんは就職したり、全国の大学や本校の専攻科に進学したりと、これからいろいろな道に進んでいきます。それぞれのやり方で社会に貢献していくという気概を持って羽ばた

いてほしいと思います。これからは皆さんの経験や身に着けた能力といった尺度で、技術者としてのキャリアを蓄積していくことになります。新しい環境に入れば誰もが予想外の困難に遭遇しますが、そこでしかできない貴重な経験や能力を磨き、人脈や実績を蓄積していくことができます。組織の中にも、あるいは転職や進路変更を行う際も、このキャリアの蓄積は強力です。皆さんのキャリアの蓄積こそが日本を活性化していく原動力になると信じます。

皆さんは高専でそれぞれ違う経験をしていますので、今できること、これからすべきことは人によって違うと思います。一人一人が皆違って他の人とは違う重要な存在だということを強く意識して頂き、それぞれが志を高く持って、できること、すべきことをしてほしいと思っています。そして、そのとき本校の合言葉である、「Realize Your Dream!」を忘れないでいてほしいと思います。いま、皆さんは高専での学びを終えた、一人前の存在です。これからは皆さん自身が主役となり「夢の実現」を考えてほしいと願います。

皆さんには今後夢の実現を考えると、いろいろな挑戦の機会があると思います。仕事や生活の中での小さな挑戦だけでなく人生をかけた大きな挑戦もあると思います。そのとき、挑戦によって皆さん自身が幸せになること、そして周りの人たちも幸せにできることが重要です。そのために何かに挑戦するときには、様々な人達の立場や考え方をしっかりと理解することを心掛けてほしいと思います。特に皆さんは技術者として世界中の人たちと関わる機会も多いはずで、人は、それぞれの経験、文化、宗教、歴史的な経緯も含めて、誰もがそれぞれに違う背景や理屈で動いています。そのことを理解し尊重した上で自分がやることに対して、賛同する人、喜ぶ人がどのくらいいるのかを見極めることが重要だと思います。今後夢の実現において、小さな挑戦でも、くじけそうになったときにも、その挑戦の先に自分も人も喜ぶ姿を想像できれば、きっと力が湧いてくると思います。これは、創立60周年の節目の年に巣立っていく皆さんに是非とも覚えておいてほしい、私からのメッセージです。

最後に、呉高専は長い歴史を持つ伝統ある学校です。皆さんには社会で活躍している多くの先輩がいて、今ともに巣立つ仲間がいて、さらに後輩がこれに続き、将来も助け合うことができます。皆さんには呉高専の卒業生・修了生としての自信と誇りを忘れず、己の可能性を信じ、助け合い、夢の実現に向けて羽ばたいてほしいと思います。皆さんの輝かしい未来を祈念して、式辞といたします。

令和7年3月18日

呉工業高等専門学校長

餘利野直人